

安全データシート

SMリスガード A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2023/08/09 4125320

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : SMリスガード A液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 建築・土木塗料(溶剤系)

使用上の制限 : カタログ及び仕様書に記載されている用途以外での使用は推奨しない。

会社情報

山王株式会社

所在地 熊本市東区戸島西5丁目5番

担当部門 技術開発部 電話番号 096-214-6850

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1B
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (血液)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (血液系, 肝臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)
発がんのおそれ (H350)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
臓器の障害 (血液) (H370)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (血液系、肝臓) (H373)
水生生物に毒性 (H401)
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前にカタログを入手すること。 (P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202)
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。 (P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 (P270)
環境への放出を避けること。 (P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 (P280)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 (P308+P311)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 (P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。 (P314)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。 (P321)
漏出物を回収すること。 (P391)
施錠して保管すること。 (P405)
内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。 (P501)

応急措置

保管

廃棄

安全データシート

SMリスガード A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : ウレタン系樹脂塗料

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
3, 3 - ジクロロ - 4, 4 ' - ジアミノジフェニルメタン	15 - 20	(4)-95,(4)-96,(4)-275	既存化学物質	101-14-4
カーボンブラック	0.1 - 1	-	-	1333-86-4
2 - エチルヘキサン酸	0.1 - 1	(2)-608	既存化学物質	149-57-5

4. 応急措置

応急措置
応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断 / 手当てを受けること。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項
その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : 水
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者
応急処置 : 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。
粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者
保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項
環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

安全データシート

SMリスガード A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法：漏出物を回収すること。
- 浄化方法：吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報：物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：データなし
- 安全取扱注意事項：作業所の十分な換気を確保する。
使用前にカタログを入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
部屋の排気および全般的な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 接触回避：データなし
- 衛生対策：作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件：施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料：データなし

8. ばく露防止及び保護措置

名前	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
カーボンブラック	-	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m3 総粉塵 4mg/m3	TWA 3 mg/m3(l),STEL -
3, 3-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン	0.005mg/m3	0.005mg/m3(皮)	TWA 0.01 ppm(IFV),STEL - (Skin)
2-エチルヘキサン酸	-	-	TWA 5 mg/m3(IFV),STEL -

- 設備対策：作業所の十分な換気を確保する。
- 保護具
- 呼吸用保護具：[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具：保護用手袋
- 眼/顔面の保護具：安全メガネ
- 皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。
- 環境へのばく露の制限と監視：環境への放出を避けること。

安全データシート

SMリスガード A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: ブラック
臭い	: 微臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 220 ° C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
50° C での蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1 - 1.1 g/cm³
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
爆発限界 (g/m³)	: データなし
爆発下限界	: データなし
爆発上限界	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何ものなし（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

カーボンブラック (1333-86-4)	
LD50 経口	8000 mg/kg

3, 3-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン (101-14-4)	
LD50 経口	2500 mg/kg
LD50 経皮	2500 mg/kg

安全データシート

SMリスガード A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

2-エチルヘキサン酸 (149-57-5)	
LD50 経口	2043 mg/kg
LD50 経皮	1140 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性	： 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 分類できない
呼吸器感受性	： 分類できない
皮膚感受性	： 分類できない
生殖細胞変異原性	： 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	： 発がんのおそれ
生殖毒性	： 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： 臓器の障害 (血液)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (血液系, 肝臓)
誤えん有害性	： 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	： 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性、水生生物に毒性。
水生環境有害性 短期（急性）	： 水生生物に毒性
水生環境有害性 長期（慢性）	： 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

3, 3-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン (101-14-4)	
LC50 - 魚 [1]	0.61 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	0.25 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	0.0095 mg/l

2-エチルヘキサン酸 (149-57-5)	
EC50 - 甲殻類 [1]	85.4 mg/l

残留性・分解性

SMリスガード A液	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

SMリスガード A液	
生体蓄積性	データなし

安全データシート

SMリスガード A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

土壌中の移動性

SMリスガード A液	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 3082
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : III
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号 : 171
陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に定められた運送方法に従う。

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 特定化学物質第2類物質、特定第2類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2、3号）
作業環境評価基準（法第65条の2第1項）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
2-エチルヘキサン酸（政令番号：69）（5%未満）
3，3'-ジクロロ-4，4'-ジアミノジフェニルメタン（政令番号：242）（15～20%）
カーボンブラック（政令番号：130）（5%未満）
特定化学物質特別管理物質（特定化学物質障害予防規則第38条3）
消防法 : 第4類引火性液体、第四石油類（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）

安全データシート

SMリスガード A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	： 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1） 3, 3' -ジクロロ-4, 4' -ジアミノジフェニルメタン (管理番号：160) (16%) 【改正後 令和 5 年 4 月 1 日以降】 第 1 種指定化学物質、特定第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1、施行令第 4 条） 3, 3' -ジクロロ-4, 4' -ジアミノジフェニルメタン (管理番号：160) (16%)
-----------------------	---

16. その他の情報

引用文献	：（社）日本塗料工業会 GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック （独）製品評価技術基盤機構化学物質管理センターデータベース 原材料メーカーSDS
------	---

免責事項

当該シートに記載されている情報は、現時点で入手できる資料・情報のデータに基づいて作成しており、含有量、物理的及び化学的性質等の情報は保証値ではなく、全ての情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証を行うものではありません。また、含有量、物理的及び化学的性質等の値は当該製品の品質とは関係ありません。当該シートの危険有害性情報は、全ての情報を網羅しているわけではありません。ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。当該シートは本製品の推奨用途に使用されることを想定しています。当該シートは製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものであり、損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いません。本製品がその他の製品の成分として使用される場合や、他の製品と組み合わせて使用する場合は、当該シートに記載されている情報は適用されません。当該シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、国外に輸出する際には、事前に当社へご相談をお願いいたします。また、新しい知見に基づき改訂されることがあるため、継続してご使用いただいている場合は最新の情報をお取り寄せいただきご確認ください。